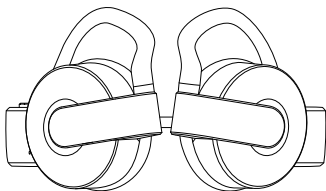


aiwa

HPB-SW25
開放型ワイヤレスヘッドホン

BA-TX50
Bluetooth 送信機

取扱説明書 / 保証書



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

安全上のご注意	3
電池についての安全上のご注意	7
内蔵バッテリーについて	7
充電式電池の廃棄について	7
使用上のご注意	8
各部名称	9
ランプ表示	10
音声ガイダンス	10
充電方法	11
装着方法	12
Bluetooth送信機を設置する	13
Bluetooth機器とテレビを接続する	13
Bluetooth送信機と接続する	15
Classic Audio「aptX Adaptive」で接続する	18
ブロードキャストモードで接続をする	18
Bluetooth送信機をペアリングモードにする	19
その他の使い方	20
他のBluetooth機器に接続する	20
マルチポイント接続をする	21
通話をする	21
デジタル有線接続をする	22
アナログ有線接続をする	23
音声アシスタントを使う	24
リセットする	24
故障かなと思ったら	25
主な仕様	27
Bluetooth通信について	28
保証とアフターサービス	29
商標について	29
製品保証書	裏表紙

安全上のご注意

火災や感電などによる人身事故を防ぐため、次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや充電ケーブルなどが破損しているのに気づいたら、すぐにアイワカスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

電源を切り、付属の充電ケーブルをUSB電源から抜き、お買い上げの販売店またはアイワカスタマーサポートセンターに修理を依頼してください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してか本文をお読みください。



危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示



危険



禁止

湿気、ほこり、油煙、湯気の多い場所、火のそば、直射日光のあたるところ、車内など高温の場所で使用・保管・放置しない



禁止

付属品以外のケーブルを使わない

付属品以外をご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあります。故障の原因となり、発煙、発火の恐れがあります。



禁止

本製品または充電ケーブルがぬれた状態で USB プラグを絶対に挿入しない

ぬれた状態でUSBプラグを挿入すると、本製品や充電ケーブルに付着した液体（水道水・飲料・海水など）や異物によるショートが発生し、異常加熱や故障の原因となります。



禁止

火の中に入れない

内蔵電池が破裂したりしてけがややけどの原因となることがあります。



禁止

分解しない

故障や感電の原因となります。絶対に分解しないでください。



禁止

自動車やバイク、自転車などの運転には使用しない

歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。交通事故の原因となります。



禁止

車の中で使用しない

本製品がブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり事故やけがの原因となることがあります。



禁止

充電端子部に水や異物を入れない

端子がショートして、誤作動や故障の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイワカスタマーサポートセンターにご相談ください。



禁止

一般ごみ（不燃ごみ）と一緒に廃棄しない

火災や破裂の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でケーブル類を抜き差ししない

感電の原因になることがあります。
水濡れ状態でUSBケーブルなどを接続すると故障する恐れがあります。



禁止

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因になることがあります。また直射日光を受けると、本製品が熱を持ち、故障することがあります。



禁止

布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってキャビネットが変形したり、火災の原因となることがあります。



指示

水分がついた場合は必ず拭き取る

水分をしっかりと拭き取り、風通しの良いところで乾燥させてください。

**大音量で長時間つづけて聞かない**

耳守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響があります。

禁止

**はじめから音量を上げすぎない**

突然大きな音が出て、耳を痛めることがあります。音量は徐々に上げてください。

禁止

**周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない**

歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。交通事故の原因となります。

禁止

**長時間使用しないときも定期的（6ヶ月1回程度）に充電してください**

充電できなくなる場合があります。

指示

**使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止する**

本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。

指示

**本製品を装着したまま眠ったりしない**

禁止

**本製品が直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する**

そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師にご相談ください。

禁止

**正しく装着し使用する**

事故や体調不良の原因となります。水などにさらされ、火災や感電の原因になることがあります。また直射日光を受けると、本製品が熱を持ち、故障することがあります。

指示

**磁力の影響を受ける医療機器のそばで使わない**

本製品は磁石を使用しているため、心臓ペースメーカーや除細動器、水頭治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与えるおそれがあります。本製品をこれらの医療機器および医療機器をご使用の方に近づけないでください。

禁止

**病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは利用を控える**

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

**心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離す**

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

指示

**航空機内で使わない**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

**自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

**人が通行するような場所に置かない****コード類は正しく配置する**

USBケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするようなおそれがある場所を避け、十分注意して接続・配置してください。

禁止

**特定の状況下ではワイヤレス機能を使用しない**

本製品はワイヤレス機能を内蔵しています。

以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本製品のワイヤレス機能を使用しないようにしてください。

禁止

- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くには使用しない。電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 航空機の機内ではワイヤレス機能を使用しない。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。
- 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

**本製品は国内専用です**

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

指示

電池についての安全上のご注意

- 液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください

危険

充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液がもれたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、アイワカスタマーサポートセンターにご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

警告

- ・ 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- ・ 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- ・ 充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電を停止してください。電池が発熱、破裂、発火する原因になるおそれがあります。
- ・ ほこりがUSB Type-C端子についたり、内部に入らないようにしてください。火災、やけど、けが、感電の原因となる場合があります。
- ・ 水濡れ状態でUSBケーブルを接続すると故障するおそれがあります。充電をする場合は、水分をしっかりと拭きとり乾燥している状態でご使用ください。

注意

- ・ 定期的に充電してください。
長期間使用しない場合でも定期的(6 ヶ月に1回)に充電することで電池の性能が劣化するのを防ぐことができます。

内蔵バッテリーについて

- ・ 充放電回数や使用期間などによって、少しずつ充電能力が低下し、持続時間が短くなります。バッテリーの消耗は特性であり、故障ではありません。またバッテリーの交換はできません。
- ・ 周囲の温度が低い場合には、持続時間は短くなります。

廃棄について

- ・ 本機にはリチウムイオンバッテリーが内蔵されています。通常の家庭ごみとして廃棄することはできません。ご不要になった製品を廃棄する場合には、この充電式電池の取り外しをお客様自身で行わず、各自治体の指示に従って廃棄するか、またはアイワカスタマーサポートセンターにご相談ください。



使用上のご注意

取り扱いについて

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはいけません。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度の高い場所
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)
 - 風呂場など、湿気の多い場所
 - ほこりの多い所、砂地の上
 - 時計、キャッシュカードの近く
(録音済のテープや時計、キャッシュカードはスピーカーに近づけないでください。)
- 設置条件によっては、落下したりすることがあります。貴重品などの近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、クレジットカードなどの磁気の影響を受けるものは、スピーカーの近くに置かないでください。

充電について

- 充電時は本製品とUSBケーブルを確実に接続してください。
- USB Type-Cケーブル(端子部)の水濡れ、異物付着などに注意してください。
- 長期間使用しない場合、充電式電池の劣化を防ぐため、半年に1度程度充電を行ってください。
- 長期間使用しなかった場合、充電時間が長くなる場合があります。
- 使用可能時間が極端に短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命と考えられます。

お手入れについて

- 汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ひどい汚れは、柔らかい布を水やぬるま湯にひたしてよく絞ってから拭き取ってください。汚れの種類によっては取り除けない場合もあります。
- シンナーやベンジンなどの溶剤、強力な洗剤などは使用しないでください。

その他ご注意

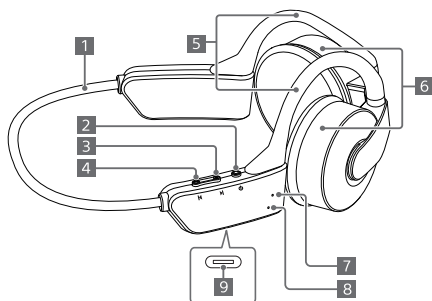
- 本製品は防水仕様ではありません。水がかからないようご注意ください。
- 使用状態や経年劣化によって、塗装や印刷がはがれる場合があります。
- 落としたりぶついたりなどの強いショックを与えないでください。
- 他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、お買い上げの販売店またはアイワカスタマーサポートセンターにご相談ください。

LE Audioについて

LE AudioはBluetooth技術の音声通信規格でコーデック「LC3」に対応しています。「LC3」はClassic Audioで採用されていた「SBC」に比べ、同ビットレート音声データで選りすぐれた音質を実現できます。送信機側と受信機側の両方がLE Audioに対応している必要があります。

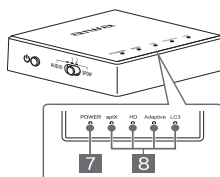
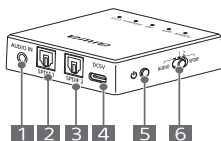
各部名称

Butterfly NEO+/HPB-SW25本体



- 1 ネックバンド
- 2 冫 (電源) ボタン
- 3 ▶/⏸ ボタン
- 4 ◀/⏹ ボタン
- 5 イヤーフック
- 6 スピーカー部
- 7 マイク
- 8 ランプ
- 9 USB Type - C 端子

Bluetooth送信機/BA-TX50



- 1 AUDIO IN端子
- 2 光デジタル入力端子 1
- 3 光デジタル入力端子 2
- 4 DC IN入力端子
- 5 電源/ペアリングボタン
- 6 音声入力切替スイッチ
- 7 電源ランプ
- 8 コーデックランプ

各ランプについて

本体およびBluetooth送信機のモードや接続状態に応じて、各ランプが以下のように点灯または点滅します。

Butterfly NEO+/HPB-SW25本体

電源オン	約1秒間青色点灯から消灯
電源オフ	約2秒間赤色点灯から消灯
充電中	赤色点灯
充電完了	青色点灯
ペアリングモード中	青色と赤色で交互に点滅
Bluetooth接続中	青色点滅(ゆっくりと光る)
アナログ有線接続中	約5秒間隔で青色点滅(青色点灯：0.5秒 消灯：4.5秒)
リセット	約2秒間赤色点灯から消灯

Bluetooth送信機/BA-TX50

電源オン	電源ランプが青色で点灯
電源オフ	電源ランプが赤色で点灯 ケーブル接続後、点灯まで約3秒かかります
ペアリングモード中	電源ランプが青色赤色で交互点滅
Bluetooth接続中	接続したコードックランプが青色点灯 ※SBC接続時無点灯
Bluetooth接続中 (ブロードキャストモード)	LC3ランプが青色点滅
Bluetooth未接続	すべてのコードックランプが青色点滅
リセット	消灯

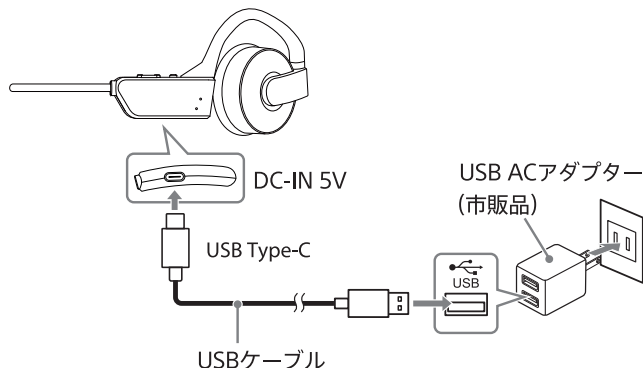
音声ガイダンス

以下の状況で音声ガイダンスが流れます。

- 電源を入れたとき：「電源オン」
- 電源を切ったとき：「電源オフ」
- ペアリングモード：「ペアリングモード」
- Bluetooth接続されたとき：「接続しました」
- Bluetooth接続が切断されたとき：「切断されました」
- 充電式電池の残量をお知らせするとき：「電池残量○○%以上/未満」
「○○」の数値は大まかな残量をしめします。目安としてご利用ください。
- 充電式電池の残量10%以下をお知らせするとき：「充電してください」
- 重低音モード：「重低音モード OFF/Low/High」
- Bluetooth接続：「無線モード」
- USB Type - C ケーブル接続：「デジタル有線モード」
- USB Type - C to 3.5mm変換ケーブル接続：「アナログ有線モード」

充電方法

充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。
USB Type - Cケーブルを使って充電してからお使いください。



1. 本体にUSB Type - Cケーブルを接続する

- 端子部に水や汗などの液体、ほこりが付着していないことを確認してください。
- まっすぐ差し込んでください。

2. USB ACアダプター (市販品)またはパソコンなどのUSB端子に接続する

- USB ACアダプターは付属しておりません。
- USB ACアダプター (市販品) は、出力：DC 5V/500mA以上のものをお使いください。
- 充電中はランプが赤色に点灯します。
- 充電時間目安は、**約2時間**です。
- 電池残量がない状態から満充電までの目安時間で使用条件により変わります。
- 充電しながらのBluetooth接続が可能です。

3. 充電が完了するとランプが青色に点灯します 充電ケーブルを外してご使用ください

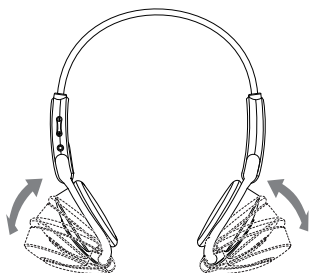
注意

- Bluetooth接続中に充電することもできます。ただしスマートフォンやパソコンと接続すると自動的にデジタル有線モードに切り替わります。Bluetooth接続状態で充電する場合は、USB ACアダプターをご使用ください。
- 長時間使用しないときも機能を維持するために6ヶ月に1度は充電することをお勧めします。
- コネクター部の水濡れ、異物付着などにご注意してください。
- 内蔵充電電池は交換できません。

装着方法

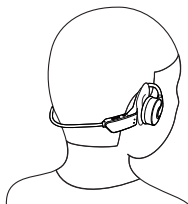
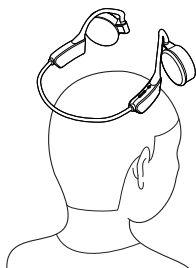
スピーカーの位置を調整する

2段階外側に開くことができます。



装着する

ネックバンドを後頭部側にまわして、イヤーフックを耳にかけてください。
左右を間違えないように装着してください。操作ボタン側が右です。

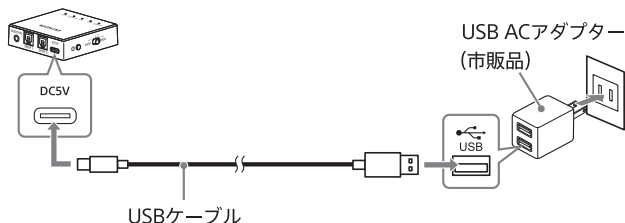


Bluetooth送信機(BA-TX50)を設置する

Bluetooth送信機をコンセントに接続する

Bluetooth送信機とUSB ACアダプター (市販品)を付属のUSBケーブルで接続します。

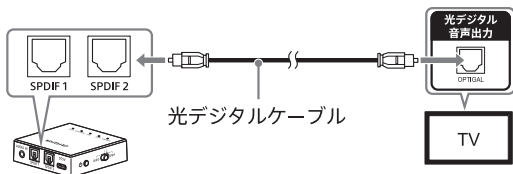
- 電源ランプが赤色で点灯します。(USBケーブル接続後、点灯まで約3秒かかります)
- テレビなどのUSBポートから給電すると、送信する音声にノイズが入ることがあります。
- USB ACアダプター (市販品)は、出力：DC 5V 500mA以上のものをお使いください。



Bluetooth送信機とテレビを接続する

光デジタルで接続する場合

1. テレビとBluetooth送信機を付属の光デジタルケーブルで接続する

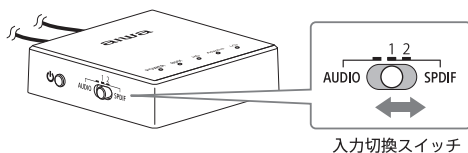


- テレビとの接続方法について詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書などをご覧ください。
- 端子はしっかりと奥まで差し込んでください。

次ページへ続く

2. Bluetooth送信機の入力切換スイッチを接続した光デジタル入力端子の番号に切り換える

- 入力切換スイッチの操作は、Bluetooth送信機の電源がオフのときに行ってください。

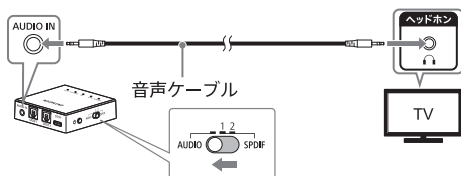


注意

- 光デジタルで接続しても音声聞こえない場合は、テレビの音声出力が「ステレオ」または「PCM」であることを確認してください。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

お使いのテレビに光デジタル出力端子がない場合

テレビの3.5mmステレオヘッドホン端子とBluetooth送信機を付属の音声ケーブルで接続します。その場合、入力切換スイッチは「AUDIO」に設定してください。



注意

- 音声ケーブルをテレビのヘッドホン端子に接続すると、テレビから音が出なくなります。ただし一部のテレビでは、設定によりテレビのスピーカーからも同時に音声を出力できる場合があります。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth送信機には、リチウム充電電池は内蔵されておりません。

Bluetooth送信機と接続する

はじめて使う場合は、本体とBluetooth送信機のペアリング(機器登録)を行う必要があります。操作を始める前に以下を確認してください。

- 本体とBluetooth送信機が1m以内に置かれている。
- 本体が充電されている。

■ペアリング(機器登録)

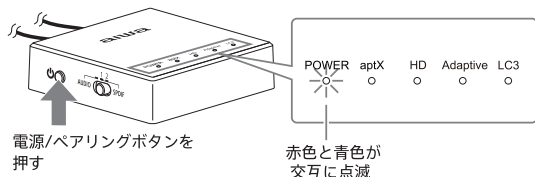
Bluetooth機能を使うには、予め接続する互いの機器を登録する必要があり、この登録のことをペアリングと言います。一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありません。

Bluetooth送信機の電源を入れる

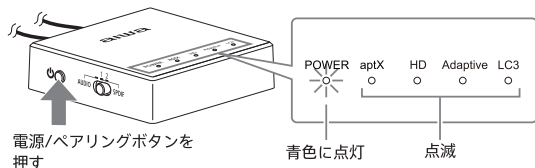
あらかじめ、Bluetooth送信機に電源が供給されていること(電源ランプが赤色に点灯)を確認してください。

1. Bluetooth送信機の電源(⏻)ボタンを約2秒長押しする

初めて電源を入れた場合やBluetooth送信機をリセットした場合は、電源をいれると電源ランプが赤色と青色が交互に点滅し、ペアリングモードとなります。



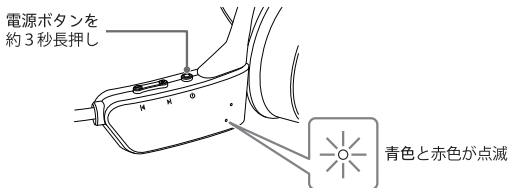
1台以上ペアリングしている場合に電源を入れると電源ランプが青色に点灯し、各コーデックランプが青色に点滅します。



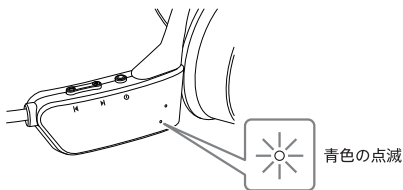
Bluetooth送信機と接続する

1. 本体の電源が切れている状態から電源(Ⓛ)ボタンを約3秒間長押しする

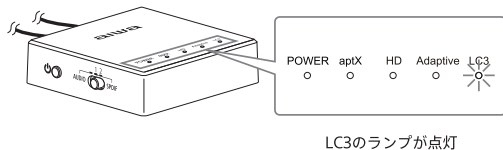
青色のランプが約1秒間点灯し、音声ガイダンス「電源オン、電池残量〇〇%、ペアリングモード」が流れ、ランプが青色と赤色の交互に点滅を繰り返します。



本体と送信機と接続が完了すると、音声ガイダンス「接続しました」が流れ、ランプがゆっくりと青色に点滅します。



接続したコーデックに従って、送信機のコーデックランプが点灯します。



注意

- 本体(HPB-SW25)と送信機(BA-TX50)は、LC3での接続が標準です。aptX Adaptiveなどで接続する場合は、LE AudioからClassic Audioへの切り替え操作が必要になります。
- 本体と送信機は、ペアリングができない状態で5分経過すると、電源が自動的にオフになります。

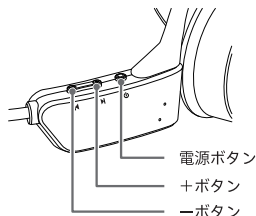
2. テレビの電源を入れる

本体からテレビの音が流れます。

- 音源によって音量が異なります。耳を傷つけないよう音量には十分注意してください。
- テレビの操作方法について詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書などをご覧ください。

3. 音量/重低音を調整する

各ボタンには以下の機能があります。



⏻ ボタン

短押し2回	重低音モードの切り換えをします。初期設定：OFF 音声ガイダンス「重低音モード OFF/Low/High」が流れます。
-------	--

◀▶ ボタン

◀(-)ボタン	短押し	音量マイナス: 音量が1段階小さくなります。
▶(+)ボタン	短押し	音量プラス: 音量が1段階大きくなります。

4. ヘッドホン本体を装着する(12ページ)

5. 使い終わったら本体の電源をオフにする

電源(⏻)ボタンを約5秒長押しします。

ランプが赤色に約2秒間点灯し、音声ガイダンス「電源オフ」が流れ、電源が切れます。

6. 送信機の電源をオフにする

送信機の電源/ペアリングボタンを約5秒長押しします。電源ランプが赤色に点灯・消灯・点灯し電源がオフになります。

注意

- 本製品は低音を強調する仕様となっています。低音が強調されている音楽を聞くと共振などが発生する場合があります。その場合は、重低音モード「OFF」または「Low」にしてお楽しみください。

Classic Audio「aptX Adaptive」で接続する

本体(HPB-SW25)とBluetooth送信機(BA-TX50)のBluetooth接続をLE Audio「LC3」からClassic Audioの「aptX Adaptive」に接続を切り替えることができます。

あらかじめ本体とBluetooth送信機をペアリング(機器登録)しておく必要があります。

1. 本体とBluetooth送信機をBluetooth接続する

Bluetooth送信機のLC3ランプが青色の点灯状態にします。

2. Bluetooth送信機の電源(⏻)ボタンを3回短押しする

「LC3」での接続が切断され、音声ガイドンス「切断されました」が流れます。Bluetooth送信機のコーデックランプが点滅後、Classic Audio「aptX Adaptive」での接続に切り替わり、音声ガイドンス「接続されました」が流れ、Bluetooth送信機のAdaptiveランプが点灯します。

LE Audio「LC3」に戻すには

本体とBluetooth送信機がで接続された状態でBluetooth送信機の電源/ペアリングボタンを3回短押ししてください。

注意

- 電源をオフしたときの接続情報を保持しています。再度電源をオンにしたときは、最後に接続していたコーデックで接続されます。

ブロードキャストモードで接続する

本体(HPB-SW25)と送信機(BA-TX50)は、LE Audioのブロードキャスト機能に対応しています。ブロードキャスト機能を使用することで送信機に複数台の本体を接続することができます。

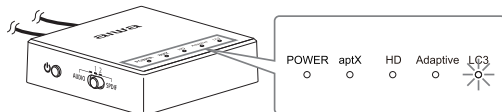
1. Bluetooth送信機の電源(⏻)ボタンを約2秒長押しする

電源をいれると電源ランプが赤色と青色が交互に点滅、または各コーデックランプが青色点滅します。

2. Bluetooth送信機の電源(⏻)ボタンを4回短押しする

LC3ランプが点滅し、ブロードキャストモードになります。

- Classic Audioでの接続状態からブロードキャストモードには切り替わりません。コーデックをClassic AudioからLE Audioに切り替えてからご使用ください。



LC3のランプが点滅

3. 本体の電源(⏻)ボタンを約2秒間長押しする

青色のランプが約1秒間点灯し、音声ガイダンス「電源オン、電池残量〇〇%、ペアリングモード」が流れ、ペアリングをしていない状態でも自動的にBluetooth送信機と接続されます。

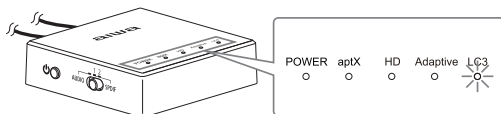
- 2台目以降の本体との接続も同様に電源をオンすることで接続されます。

4. Bluetooth機器の電源(⏻)ボタンを4回短押ししてブロードキャストモードを解除する

接続していたすべての製品とのブロードキャスト接続が解除されます。

ペアリングしていた本体がある場合は、最後に接続していた本体のみが自動接続されます。

接続先がない場合、送信機は接続待機状態となります。



LC3のランプが点灯

注意

- すべてのLE Audio ブロードキャスト対応製品との接続を保証するものではありません。
- 送信機からの信号は暗号化されていません。送信機の信号を受信できる範囲内であれば、誰でも受信できます。ご使用の際は傍受にご注意ください。
- 本モードは電源を切っても保持されます。次回電源を入れたときはブロードキャストモードで動作します。
- 近くにブロードキャストモードの送信機が複数台あると、うまく接続できない場合があります。送信機同士の距離を離すか、接続したい送信機のみをブロードキャストモードにしてください。

Bluetooth送信機をペアリングモードにする

Bluetooth送信機と本体(HPB-SW25)以外の製品をペアリングする操作方法を説明します。

1. Bluetooth送信機の電源(⏻)ボタンを約2秒長押し電源をオンにする

2. Bluetooth送信機の電源(⏻)ボタンを2回短押しする

電源ランプが赤色と青色が交互に点滅し、ペアリングモードになります。

3. 接続するBluetooth機器の電源をオンにする

注意

- 接続するBluetooth機器の対応するコーデックで接続されます。
- Classic Audioによる接続では、2台以上同時に接続することはできません。複数台の接続は、LE Audio ブロードキャストモードのみとなります。

その他の使い方(本体)

他のBluetooth機器と接続する

他のBluetooth機器(スマートフォン・タブレットなど)と接続して音を楽しむこともできます。

1. 電源が切れている状態から電源(⏻)ボタンを約3秒間長押しする

青色のランプが約1秒間点灯し、音声ガイダンス「電源オン、電池残量○○%、ペアリングモード」が流れ、ランプが青色と赤色の交互に点滅を繰り返します。

2. 接続するBluetooth機器の電源を入れ、Bluetooth機能を有効にする

3. Bluetooth機器のペアリング操作を行い、「HPB-SW25」を選択する

接続が完了すると音声ガイダンス「接続しました」が流れ、ランプが青色の点滅に変わります。

4. 使い終わったら電源をオフにする

電源(⏻)ボタンを約6秒長押しします。

ランプが赤色に約2秒間点灯し、音声ガイダンス「電源オフ」が流れ、電源が切れます。

音源再生時の各ボタン操作

各ボタンには以下の機能があります。

⏻ボタン

短押し(1回)	音楽再生、一時停止をします。
短押し(2回)	重低音モードの切り換えをします。初期設定：OFF 音声ガイダンス「重低音モード OFF/Low/High」が流れます。

◀/▶ボタン

◀(-)ボタン	短押し	音量マイナス: 音量が1段階小さくなります。
	長押し	曲戻し: 前の曲に戻ります。
▶(+)ボタン	短押し	音量プラス: 音量が1段階大きくなります。
	長押し	曲送り: 次の曲に送ります。

注意

- 本製品は低音を強調する仕様となっています。低音が強調されている音楽を聞くと共振などが発生する場合があります。その場合は、重低音モード「OFF」または「Low」にしてお楽しみください。

マルチポイント接続をする

マルチポイントとは、2台のBluetooth機器を接続して、音楽再生用(1台目)と通話用(2台目)として使い分ける機能です。あらかじめ本製品と、それぞれの機器をペアリング(機器登録)しておく必要があります。

1. 本体を1台目のBluetooth機器と2台目のBluetooth機器にそれぞれペアリングする
2. 音楽再生用(A2DP)に使用する1台目のBluetooth機器とヘッドホンを接続する
3. 通話用(HSP/HFP)に使用する2台目のBluetooth機器とヘッドホンを接続する

注意

- 音楽再生用のBluetooth機器を必ず先に接続してください。
- 前回接続したスマートフォンや携帯電話の場合、本体の電源を入れると自動的にHFPまたはHSPに接続され、同時にA2DP接続される場合があります。その場合は、スマートフォン/携帯電話を操作して接続を切断した後で、**手順2.** から接続を行ってください。
- 無料通話アプリケーションによって正しく動作しない場合があります。
- すべてのBluetooth機器での組み合わせ、動作を保証するものではありません。

通話をする

お使いのBluetooth機器がプロファイルのHFPまたはHSPに対応していれば、本製品とBluetooth接続することでハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン/携帯電話がHFP/HSPの両方に対応している場合、HFPを使用してください。
- お使いのスマートフォン/携帯電話によって操作が異なる場合があります。スマートフォン/携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いのBluetooth機器やアプリケーションによっては、正しく動作しない場合があります。

1. ヘッドホンとスマートフォン/携帯電話をBluetooth接続しておく
2. 着信したら電源(🔌)ボタンを短押しして電話を受ける
電源(🔌)ボタンを長押しすると着信を拒否します。
3. 通話をする
＋/－ボタンを押して音量を調節する。
4. 通話が終了したら電源(🔌)ボタンを短押しする

音楽再生中に着信したときは、電話を切ると一時停止されていた音楽が再開します。

注意

- スマートフォン/携帯電話を操作して電話を受けた場合、機種によっては、スマートフォン/携帯電話の通話が優先される場合があります。スマートフォン/携帯電話を操作して通話を切り替えてください。
- お使いのBluetooth機器やアプリケーションによっては、音楽再生中に着信した通話を終了しても自動的に再開しない場合があります。その場合は、手動で再開してください。

デジタル有線接続をする

USB Type - Cケーブルを接続して有線で使用することができます。

- Android端末と接続する場合は、OTG機能を有効にする必要があります。
お使いのAndroid端末がOTG機能に対応しているかご確認ください。Android端末によって操作が異なることがあります。Android端末の取扱説明書も合わせてご覧ください。

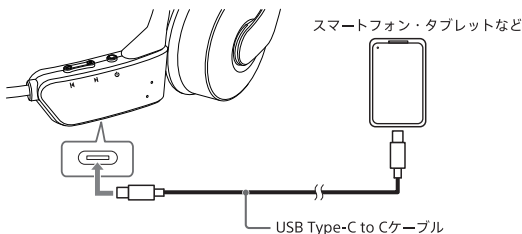
1. 電源が切れている状態から電源(⏻)ボタンを約3秒間長押しする

青色のランプが約1秒間点灯し、音声ガイダンス「電源オン、電池残量〇〇%、ペアリングモード」が流れ、ランプが青色と赤色の交互に点滅を繰り返します。

2. USB Type - Cケーブルを接続する

音声ガイダンス「デジタル有線モード」が流れ、ランプが青色の点滅を繰り返します。

- Bluetooth接続していた場合、Bluetooth接続は切断されます。
- 接続先の機器からの充電が始まり、ランプが赤色に点灯します。満充電の場合、ランプが青色の点灯に変わります。



3. 接続先の機器で音楽を再生する

4. ◀▶ ボタンを操作して音量を調整する

5. Bluetooth接続に戻す

本体からUSB type - Cケーブルを抜くと音声ガイダンス「無線モード」が流れ、ペアリングモードになります。接続可能な機器がある場合、自動的に接続されます。

注意

- USB Type - C to Lightning変換アダプタを使用してのデジタル有線接続はできません。
Lightning to 3.5mmイヤホンジャック変換アダプタにてアナログ有線接続をご使用ください。
- USB Type - Cによるデジタル有線接続では、接続先機器のバッテリーから本体への充電を行います。接続先のバッテリーが少ない場合は充電してからご使用してください。
- 接続するパソコンのUSBポートによって本製品が正しく認識できない場合があります。

アナログ有線接続をする

付属の3.5mm変換ケーブルを使用することで、USB Type-Cコネクタが無い機器と接続することができます。

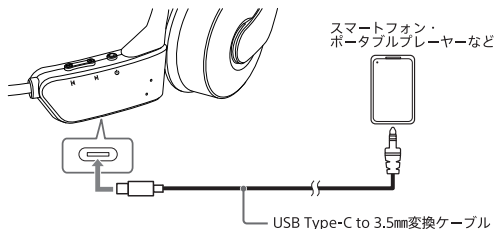
1. 電源が切れている状態から電源(⏻)ボタンを約3秒間長押しする

青色のランプが約1秒間点灯し、音声ガイドンス「電源オン、電池残量〇〇%、ペアリングモード」が流れ、ランプが青色と赤色の交互に点滅を繰り返します。

2. 3.5mm変換ケーブルを接続する

音声ガイドンス「アナログ有線モード」が流れ、ランプが青色の点滅を繰り返します。

- Bluetooth接続していた場合、接続は切断されます。



3. 接続先機器を操作して音量を調整する

アナログ有線接続にした場合、本製品の音量は最大となります。接続先機器を操作して音量を調整してください。

4. Bluetooth接続に戻す

本体から3.5mm変換ケーブルを抜くと音声ガイドンス「無線モード」が流れ、ペアリングモードになります。接続可能な機器がある場合、自動的に接続されます。

注意

- 本体の電源がオフの状態で使用することはできません。
- アナログ有線接続時は充電されず、搭載バッテリーを消費します。
- USB Type-C to 3.5mm変換ケーブルは専用品となります。市販品はご使用いただけません。

音声アシスタントを使う

接続機器によっては、搭載されている音声アシスタント機能(Googleアシスタント、siriなど)を起動して、マイクから声でスマートフォンを操作したりすることができます。

1. 電源が切れている状態から電源(⏻)ボタンを約3秒間長押しする

2. Bluetooth機器と本体を接続する

青色のランプが約1秒間点灯し、音声ガイド「電源オン、電池残量〇〇%、ペアリングモード」が流れ、ランプが青色と赤色の交互に点滅を繰り返します。

3. Bluetooth機器と本体を接続する

4. 電源(⏻)ボタンを約2秒間長押しする

ピープ音が1回鳴り、Bluetooth機器の音声アシスタント機能が起動します。

5. 本体を装着した状態で話しかける

一定時間話しかけないと、音声入力が解除されます。

- 音声アシスタント機能の音声コマンドの詳細については、スマートフォンなどの取扱説明書をご覧ください。
- スマートフォンの仕様やアプリケーションのバージョンによっては、音声アシスタント機能が動かない場合があります。
- Googleアシスタントなど、他社が提供しているサービスについては、該当のサービス提供者にお問い合わせください。他社が提供しているサービスに関する誤認識などの不具合について責任は負いません。

リセット(工場出荷状態)する

電源が入っているのに操作できない、Bluetooth機器と接続できない場合は、リセット(工場出荷状態)してください。リセット(工場出荷状態)すると、すべてのペアリング情報が削除されるため、接続するBluetooth機器から本製品の登録を一度削除して再度ペアリングをしてください。

本体をリセットする場合

1. 電源オンの状態で電源(⏻)ボタンを5回短押しする

ピープ音が2回鳴り赤色のランプが約2秒間点灯します。全ての設定がリセットされて音声ガイド「電源オフ」が流れ、電源が切れます。

Bluetooth送信機をリセットする場合

1. 電源オンの状態で電源(⏻)ボタンを5回短押しする

すべてのランプが青色に約2秒間点灯・消灯後に電源ランプが赤色に点灯します。

故障かなと思ったら

症 状	ご確認ください
充電できない	➡ AC USBアダプターが電源コンセントにしっかり接続されているか確認してください。 ➡ 充電ケーブルがAC USBアダプターなどのUSB端子にしっかりと接続されているか確認してください。 ➡ パソコンの電源が入っているか確認してください。パソコンがスタンバイ(スリープ)や休止状態に入っている場合は解除してください。 ➡ USBハブなどを經由せずに直接つながれているか確認してください。 ➡ AC USBアダプターは、出力0.5A(500mA)以上が供給可能なものをご使用ください。 ➡ 本体とパソコンがUSBハブなどを經由せずに直接接続されているか確認してください。 ➡ 電池残量がない状態から満充電するには、約2時間かかります。 ➡ 充電時間と動作時間が短くなった場合は充電式電池が消耗している可能性があります。
電源が入らない 電源が切れる	➡ 本体の電池残量が少なくなっている可能性があります。付属のUSB Type - Cケーブルを使用して充電してください。 ➡ 充電しても電源が入らない、またはすぐに電源が切れてしまう場合は、充電電池の消耗している可能性があります。 本体の内蔵充電電池は交換できません。
送信機と接続できない	➡ 送信機に電源が供給されているか確認してください。 ➡ 送信機の電源ランプは青色に点灯していますか。 SBCで接続されている場合、コーデックランプは点灯しません。 ➡ 本体と送信機の距離を1m以内に近づけてください。 ➡ 修理返却後にペアリングし直す場合、接続するBluetooth機器にペアリング情報が残っているとペアリングできません。 その場合は接続するBluetooth機器にペアリングされている本製品のペアリング情報を削除(リセット)してからペアリングを行ってください。 ➡ 本体と送信機をリセットし、もう一度ペアリングしてください。
Bluetooth機器と接続されない	➡ Bluetooth機器の電源が入っていてBluetooth機能がオンになっていることを確認してください。 ➡ Bluetooth機器側の機器登録情報を削除してもう一度ペアリングし直してください。 ➡ 本製品をリセットして再度ペアリングをやり直してください。
音が出ない	➡ 送信機の入力切換スイッチが正しい位置か確認してください。 ➡ Bluetooth機器と接続できているか確認してください。 ➡ Bluetooth機器側で音楽が再生されているか、音量が小さすぎないか確認してください。 ➡ 本体をリセットし、もう一度ペアリングしてください。
音が小さい	➡ Bluetooth機器と本体の音量を調節してください。 ➡ Bluetooth機器と本体をもう一度接続し直してください。 ➡ 本体をリセットし、もう一度ペアリングしてください。

症 状	ご確認ください
接続先機器を操作できない	➡ USB Type-C有線接続時、再生/一時停止の操作はできますが、3.5mm変換ケーブルで接続している場合、接続先の機器は操作できません。
有線接続できない	➡ 付属の3.5mm変換ケーブルを使用していますか。市販品の3.5mm変換ケーブルは使用できません。 ➡ USB Type-Cケーブルはデータ転送に対応していますか。 ➡ USB Type-Cケーブルによる有線接続の場合は、Android端末のOTG機能をオンにしてください。 ➡ USB Type-C—Lightning変換アダプタを使用している有線接続はできません。
音質が悪い 雑音が多い 音切れする	➡ 本製品とBluetooth機器の間に障害物はありませんか。障害物を避けてください。 ➡ ビデオ通話用アプリ時は、回線の影響により音質が悪くなる場合があります。 ➡ Bluetooth通信使用可能距離(10m)を超えていませんか。本製品とBluetooth機器を近づけてください。 ➡ 通話時は通信回線の影響により音質が悪くなる場合があります。 ➡ テレビやパソコンなどのUSBポートから送信機へ給電すると、送信する音声にノイズが入ることがあります。 ➡ パソコンと有線接続する場合、USBハブを経由するとノイズなどが発生する場合があります。 ➡ スマートフォンで音楽をきいているときは、不要なアプリを閉じたり、スマートフォンを再起動すると改善される場合があります。 ➡ 無線LANが構築されている場所や電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所において影響を受ける可能性があります。 ➡ 本体をリセットし、もう一度ペアリングしてください。
通話相手の声が聞こえない・小さい	➡ 本製品とBluetooth機器の音量が小さすぎるときは音量を上げてください。 ➡ Bluetooth機器の音声設定または通話用アプリの設定を確認して本製品で通話する設定になっていない場合は設定を切り替えてください。 ➡ Bluetooth機器を操作して接続し直してください。プロファイルはHFPまたはHSPを選択してください
それでも解決しないときは…	➡ アイワカスタマーサポートセンターにご相談ください。

使用方法や修理のご相談など

製品、操作方法やトラブル、修理のご依頼に関するご相談、お問い合わせ アイワカスタマーサポートセンター

受付時間: 平日9時～17時(土日、祝日、長期連休を除く)

ナビダイヤル



0570-015-355

※ナビダイヤルの通話料はお客様のご負担となります。予めご了承ください。

主な仕様

Butterfly NEO+/HPB-SW25本体

スピーカー部	型式	オープンイヤー型
	ドライバーユニット	DRD(ダブル レゾナンス ドライバー) 直径 34mm
	再生周波数帯域	20 ～ 20,000Hz
	音圧感度	80 ± 3dB (0.1W, 2cm)
マイク部	インピーダンス	11Ω 15%
	型式	モノラル
通信方式	感度	全指向性 -32 ± 3dB
	Bluetooth標準規格	Version. 5.4
電源	送信出力	Class 2
	使用周波数帯域	2.4GHz帯 (2.4 ～ 2.480GHz)
	対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HSP、HFP
	対応コーデック	SBC、AAC、aptX、aptX HD、aptX Adaptive、LC3
	対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
	リチウムイオン電池	3.7V 250mAh
	充電時間	約2時間
重量	充電ポート	USB Type-C
	連続音楽再生時間	約22時間 (音量50%、無線接続時) ※
	連続通話時間	約25時間 (有線3.5mm変換プラグ接続時) ※
		約20時間 ※
		約60g

Bluetooth送信機/BA-TX50

通信方式	Bluetooth Ver. 5.4
送信出力	Class 2
見通し使用距離	約10m
使用周波数帯域	2.4 GHz帯
対応コーデック	SBC、aptX、aptX HD、aptX Adaptive、LC3
質量	約34 g

※ 使用条件により異なります。

Bluetooth通信について

- 本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別構内無線局、免許を要しない特定の省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「無線局」と略す)が運用されています。
 1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、アイワカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。アイワカスタマーサポートセンターについては、製品保証書をご覧ください。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 磁場や静電気、電波障害が発生するところや、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近くでは本製品を使用しないでください。
- Bluetooth無線技術では、およそ10m程度までの距離で通信できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth通信は以下の状況において、ノイズや音切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
 - 本製品とBluetooth機器の間に人体がある場合
この場合は、本製品のアンテナと同じ方向にBluetooth機器を置くと改善されます。
 - 本製品とBluetooth機器の間に金属、壁など障害物がある場合
 - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
 - 屋外では室内に比べて壁、床、天井などの電波の反射が少ないため、室内よりも音の途切れなどが起こりやすくなります。
- 本製品と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉のためノイズや音切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
この場合、次の対策を行ってください。
 - 本製品とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10m以上離れたところで行う。
 - 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
 - 本製品とBluetooth機器をできるだけ近づける。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本製品及びBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 病院内/電車内の優先席付近/ガソリンスタンドなどの引火性ガスの発生する場所/自動ドアや火災報知器の近く
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本製品側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご使用の場合、映像と音声はずれる場合があります。
- Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 本製品は全てのBluetooth機器とのBluetooth接続を補償するものではありません。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

注意

- Bluetooth機能を使うには、接続先のBluetooth機器が本体と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて本体側での再生がわずかに遅れます。

商標について

- Google、AndroidはGoogle LLCの商標です。
- Siriは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Bluetooth®のワールドマークおよびロゴは、商標登録であり、Bluetooth SIG INC.が所有権を有しています。アイワ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
- USB Type-C®とUSB-C®は、USB Implementers Forumの商標登録です。
- Qualcomm aptXはQualcomm Technologies, Inc.および/またはその子会社の製品です。Qualcommは米国および他の国々で登録されたQualcomm Incorporatedの商標です。aptXは米国および他の国々で登録されたQualcomm Technologies International, Ltd.の商標です。
- DRD (ディーアールディー)、Double Resonance Driverの略称です。本製品のドライバー及び信号処理技術は、Dedekind R&Dからライセンスされています。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも調子が悪いときは

アイワカスタマーサポートセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

製品保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは製品保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。